



私たち生活支援コーディネーターがおじゃました活動や、地域の様子、集いの場に対しての働きかけなどを一部紹介します！

8月

月に1回、上浜街道集会所で仙台傾聴の会による「傾聴カフェ」が開催されています。

懐かしい歌の合唱やチラシを使ったバッグ作りが、和やかな雰囲気のなか行われていまし



た。
灼熱の日でしたが、涼しい部屋でゆっくり交流が深められたようでした。

9月

3年ぶりに7月から再開した一本松のサロン「笑和会」。

新型コロナによる活動自粛の間に参加者の人数も状況も大きく変わりましたが、男性も一緒



にゲームを楽しむ姿は、コロナ前と変わらない様子でした。

10月

「第1回フードロスDEはま道ランチ」と称し、社会全体で食品ロスの削減を広げていくために、フードロス食材を使用した9種類150個のお弁当が販売されました。



近隣住民や子育て世代、相談支援事業所の職員など多くの方が訪れ、完売しました。

11月

大畑浜で週に2回活動しているグランドゴルフ愛好会。

震災前は多くのお宅が点在していた地域ですが、今は内陸に転居された皆さんが自転車や車



で集まってきます。

プレイ後のおしゃべりが格別なようですね。

会話することや地域での交流の大切さが見直され、新型コロナウイルスが5類の取り扱いになったことをきっかけに、地域の集いの場が徐々に再開しています。

新たな活動の動きも生まれ、地域のみなさんが集える場の拡充をこれからもサポートしていきたいと思えます。

令和5年度 第1回生活支援体制整備事業『協議体』

令和5年9月22日（金） 巨理町役場 いきいきホール

◆今までの生活支援体制整備事業についてのふりかえり

町の現状と今後について説明を行った後に、今までの協議体で上がった地域資源や課題から生活援助サービスの立ち上げに至った経緯の説明や、個別事例の検討を行った昨年度の様子について説明されました。

◆講義とグループワーク

仙台白百合女子大学の志水助教授より生活体制整備事業と協議体について、今一度説明をいただきました。

講義の後にはグループワークを行い、若い世代との関わり方や集いの場・老人クラブについての話題があがり、志水助教授から助言をいただきました。

移動販売について

現在、町内で運行している移動販売の状況を社会福祉協議会ホームページに掲載しており、定期的に更新しています。

移動販売を利用されている方が主に高齢者であることから、体調不良による入院や入所等を理由に、当初より利用客数が大きく変動している場所もあるようです。

そういったことから、移動販売を運行している事業所より、ルートの見直しにあたり、買い物にお困りの方が多いであろう場所についての相談を持ちかけられることが増えています。

みなさんのお住いの地域で、買い物にお困りの方が多い地域をご存じでしたら、情報提供をお願いいたします。

右記の2次元バーコードから移動販売の運行状況が確認できます。



地区や行政区でやっているイベントや集いの場など『見に来てほしい』『あしあとで紹介してほしい』といったご要望がありましたら、ぜひ巨理町社会福祉協議会（☎34-7551）までご連絡ください！

